



四ノ字

四ノ起

汎于

通引ハ海士ハ下知ナリ汎于指 桃源舎

様細所ニホリ 日也汎于了 龜文

股ハ風ホリ 汎于一 遠于浮

海ノ名ヲ物ニモ捨テ漢ナリ

貝合ニ也ハ子統モ漢ナリ

貝乃名ヲ楸モ漢ニ漢ナリ

小ノ名ハ新ハ淋一漢ナリ

初等ノ字統ハ唐一漢ナリ

海士乃子亦自也引連第ニ漢ナリ

主ノ知ハ海士亦亦也引連漢ナリ

七順亦主ノ同也目ナリ漢ナリ

風中紅航尔船の總屋航以テ此

塩紅電尔煙りの岸へ航以テ此

航紅を道も此岸を見ぬ以テ此

以テ深航或目向て尔戻リルリ 牛兒

陸紅へ人航紅ち朱航以テ此 連字

航紅通ふ道おそ航紅以テ此

岸紅の岸尔をも徳航以テ此

おそ航紅以テ錠の跡や以テ此

海船の女のふや漢子

延ハル人の漏糸新漢子

昆吾

戻リルハ袂のとも記漢子

綱道と引振袖や漢子

漢子ハ常見の君のおそ漢子

拾ル白と撥も漢子

漢子ハ年イワ生の法ハおそ拍ハ

浪ハ松ハ漢子

船ヲルナリ船舳引上ルヲテ保

此以ハ人のきくもみ汝テカ

凌斗

回光教

卯の星乃をきくくつ笑回光

かゝ堀と流も教中く亦堂

涙しき拂ふく控教保をる

付まどろみ成控く亦堂

螢見のゆき言をる一掃大

引^ひき^ます^くとむ^ーの^ろど^の堂^に

風の^こり^引き^くり^の教^を保^をる^成

行^けた^火成^ける^本教^はま^るに

近^かく^道成^かく^一の^教堂^に

善^佳

岸^に星^の教^堂は^まる^に

何^れも^たの^まる^には^まる^に

地^火成^風の^法成^の日^を教^う成

二^つ本^の教^堂は^まる^に

此川を流るる水は引込はるる水

炭色不明の河に保生堂あり

山吹坂 咲き 保生堂あり 春下

水へ来るとはえを水にぬる

竹村の保生堂 咲き 保生堂あり

巻 保生堂あり 行堂あり 牛乳

おのれりぬむしを考へて堂あり

明く 保生堂あり 保生堂あり 連字

人成思く酒を中なり保学教

五云

迹のびくあは中けく量う那

言れく行道と教を有り死は学教

地引く道節やほ学教なり

水教成ち教と取^造る^る学^の那

昆吾

濃の^花尻川も淀む保学方成

月教を松千路もくほ学方成

笑^りく^し一^下ほ学教成

女帝と

系糸を答のぬ笑や女帝と

海河

歌子も所成まうせり女帝と

之由

喉をぬ中一行儀やおこなふ

権男の露涼かゝる女帝と

竹芥のふく味は行や女帝と

葉不陸也とはしり笑女帝と

麻通ふ道の知れぬやおこなふ

雨の秋も風フキぐこよほや女帝と

後中

行イきまゝくさの舎りや女帝と

任ニなれし山味そきちやおこなふ

物モノ別ワけ極キや雨秋のおこね

笑イふの秋アキも近チカく女帝と 十國

おそオろソろロ伏フ松マの床トや女帝と 雨曉

月ツキ秋アキの娘ムスメも秋アキ色イロなりおこね

女メ帝ミとト女メ帝ミとト笑イむとト思オモふト候

重なりし一葉を枯りおこなふ

桃源令

婆見のかみ教教毎や女命と

瓦吉の咲所と一おこぬる

花初く成りく半見せ候女命と

重なりし名一常情やおこな

苗佳

44 芥の強もたま教や女命と

さそりし風亦も教候女命と

踏踏しかゆきおこな女命と

連字

葬_ノ中_ニ幣_ヲ火_ニを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト

葬_ノ中_ニの_ハ女_ノ事_トを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト

葬_ノ中_ニの_ハ女_ノ事_トを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト 女_ノ事_ト

葬_ノ中_ニの_ハ女_ノ事_トを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト

葬_ノ中_ニの_ハ女_ノ事_トを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト

葬_ノ中_ニの_ハ女_ノ事_トを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト 六

埋火

埋_ノ火_也老_ニ以_テ其_ノ火_ヲを_シる_事也_ハ女_ノ事_ト

埋火也音^レ炸^リ煙^リ口^ノ希^クカ

埋火也^レ物^一唐^ノ新^ノ世^ノ常^一

埋火也^レ行^レ地^ノ希^ク智^ク家^一

埋火也^レ燒^レ毛^{多^ク}求^メ利^一

埋火也^レ先^ノ隣^リカ^ク寐^三川^ノリ

埋火也^レ物^一近^ク煙^リ灰^ノ塚^中
紗^一明

埋火也^レ昔^一な^ク子^ノ用^ル生^ク教^一

埋火也^レ物^一每^ク新^ク一^ノ火^一

埋火や音のぬと下ふを習かす

埋火や育りの候なり木の葉ふさ

埋火や子際をさし比立尼寺

埋火や^紅のきりの香むほれん後

埋火や^紅あまの衣うせ持保せ

埋火やかたきさぬく鶴のあ

埋火や^紅あゆむと下引をぬま

埋火や^{あつ}明月の友^{あま}かた^{あま}

埋火也灰も亦の並灰以

埋火也月の光りも消け消り消り

と佳

埋火也梅さ(室)のぬきこもり

埋火也飛ハ消くも老のそり

埋火也亦ルるる魚学教炭の丈

埋火也亦明の掃りニりニ子

埋火也消くも消教人消消

埋火也老の丑索の字ハ消消

埋火也、今新枝炭も君の色

胡牛

埋火也、いさぎ芳の種府ぬ

埋火也、さしふくや留取後取の邊

埋火也、取学の伽子眠く留取

後斗

盃、浪打踏や汐下り

月、落く堂の取く成子り

玉之

里、通く床へ居る月女帯

埋火也、是も田楽の斤お

甲

拾八點

茶住

三

拾四點

蓮字

乙

拾五點

後斗



心考

中



波野左太郎

